

サービス・ツーリズム産業労働組合連合会

〒160-0002 東京都新宿区坂町28-6 坂町Mビル2F  
TEL : 03-5919-3261 FAX : 03-5919-3264  
E-mail : stu@net-stu.com  
発行人：数村 滋

## 地方連合会の新体制が始動！



西日本地連



北海道地連



九州地連



東日本地連



沖縄地連



中部地連

### ～組織拡大と加盟組合支援を柱に3期目がスタート！～

7月21～22日に開催された本部大会を受け、全国各地にある地方連合会(地連)の大会も8月下旬から9月中旬まで相次いで開催されました。今期より地連組織の再編成を行われ、東北地連と関東地連が統合し東日本地連に、中四国地連と関西地連が統合し西日本地連となりました。併せて地域活動の拠点を確保する為に東北支部と中国支部を設置し、新しく8地連から6地連2支部の体制となりました。組織拡大と加盟組合を支援する産別機能強化を重点的に、全国の各地連と支部は、皆さんの窓口として、地域に根ざした様々な運動を展開します。

#### 各地連の担当地域と登録組合員数

地連名	管轄都道府県	登録組合員数
北海道地連	北海道全域	971名
東日本地連 (東北支部含む)	青森・岩手・秋田・山形・宮城・福島・群馬・栃木・茨城・埼玉・千葉・東京・ 神奈川・山梨・新潟・静岡 (伊豆半島以東)	14,650名
中部地連	静岡 (沼津市以西)・長野・愛知・岐阜・三重・富山・石川・福井	3,255名
西日本地連 (中国支部含む)	滋賀・京都・奈良・和歌山・大阪・兵庫・鳥取・島根・岡山・広島・山口・ 香川・徳島・高知・愛媛	8,325名
九州地連	福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島	1,552名
沖縄地連	沖縄	433名

## 地連機能強化と平和運動にこだわりを

～沖縄地連大会 2005.9.12 沖縄都ホテル～

沖縄地連は去る、9月12日(月)午後3時より沖縄都ホテルにおいて代議員、地連役員、傍聴者など約40名の出席のもと第5回定期大会を開催いたしました。

大会議長には宮城代議員(沖縄万座ビーチホテル労組)を議長に選出後議案の審議に入りました。

今大会には航空連合 川平副会長が来賓として、本部からは数村事務局長が出席いただき、それぞれご挨拶をいただきました。

過去2年間の運動のまとめとして「地連活動(運動)への加盟労組組合員の積極的参加の推進」「連合沖縄との関わりを密にすることで『サービス連合』の存在を県内労働界に広める」「平和運動への積極的参加」等について総括し、次年度以降も一層強化取組むことを確認しました。

2005～2006年度運動方針においてまず「地連執行部の機能強化」を挙げ「本部オルガナイザー会議」の受け皿組織として地連執行委員会を活用することを確認しました。

次に平和産業である我々「サービス・ツーリズム産業」は常に『平和』であることが大原則で、ここ数年に発生した事件、事故は他人ごとではなく、我々ひとりひとりの生命をも危険にさらすことは無論のこと、業界自体が再び窮地に追いやられるかもしれないことを、常に意識し、連合活動の「平和運動」へは今後も積極的に参加していくことを確認しました。

また、組織拡大については地連執行委員による情報収集力強化を図り、未組織ホテルスタッフへの接触到繋がる行動を起こしていくことを改めて確認しました。

大会後半においては、地連役員選挙を行い再選された上原地連議長以下13名の役員を選出いたしました。今回、会計監査ではありますが初めて女性役員を1名選出することもできました。

また、地連立ち上げ以来、4年間にわたり尽力いただいた前会計監査の外間さん(石垣全日空リゾート労組)の退任慰労表彰を行いました。

今大会終了後、数村本部事務局長を講師に『サービス連合の存在と役割について考える』と題して講演会を開催し、講話のなかでも特に東急観光労組支援に関する経過については多くの出席者がメモをとりながら話しを聞く姿がみられ、有意義なものであったと思います。

最後に大会開催にあたり、各地連、並びにサービス連合加盟労組より多くの激励のメッセージをいただきました。

たことを、御礼申し上げます。【福田涼二】



上原 沖縄地連議長



福田 沖縄地連事務局長

沖縄地連(四役以上)

役職名	氏名	組合名
議長	上原 正人	沖縄観光開発
副議長	南風盛順史 比嘉 博之	石垣全日空リゾート 沖縄万座ビーチホテル
事務局長	福田 涼二	全日空ホテルズ沖縄
副事務局長	松田 誠	沖縄観光開発

## 創意工夫の地連運動を展開

～九州地連大会 2005.9.2 博多都ホテル～

サービス連合九州地連は、第5回定期地連大会を9月2日に福岡市の博多都ホテルにおいて64名(執行委員26名・代議員27名・女性特別代議員7名、傍聴者3名)の出席のもと開催しました。

大会議長には津和崎宏見代議員(阪急交通社労組)・櫻田貴宏代議員(ニュースカイホテル労組)の2名を選出し、来賓は、連合福岡・山口会長、九州交運労協・福田事務局長、衆議院議員選挙立候補者藤田一枝秘書。本部からは宮坂副会長に参加を願い、それぞれ挨拶をいただき議事に入りました。

九州地連は前期の取り組みを踏まえ、地域におけるサービス連合運動の拠点である立場を再度確認し、組

織・財政問題の観点から、当面の間は、①組織対策(組織拡大・組織維持と加盟単組への支援・指導)②地方連合と共闘への対応 ③教宣活動を中心課題としながら取り組むこととし、地域における今日までの取り組みも踏まえ、結成時に確認した7項目の運動課題を意識した地連の運動を進め、今期、2年間の運動の前進にむけ「2005～2006年度の運動方針」を提案し全会一致で承認されました。

主要な方針として、1点目には、執行委員会・四役会・専門部、委員会を中心とし、執行体制の強化と地域産別機能の確立をはかるため、執行委員会は原則年8回開催とし、四役会議は執行課題及び執行委員会と

の関連で適宜開催としました。

また、業種別（観光・ホテル）委員会の組織機能の強化は、従来の単組間の情報交換と問題解決にむけた、意見交換や相互アドバイス及び産業個別の課題に関する相互議論に加え「組織・経営問題」への対応を担える組織として、体制確立と対応力強化（業種課題・単組支援・組織対策）をはかります。そのために両業種委員会の組織体制強化及び役割の見直しをはかっていくこととしました。

2点目として、最重点課題である組織拡大の取り組みは、地連オルガナイザーグループ(地連四役及び組織部と単組選出のオルガナイザー)が中心となって、設定したターゲットの情報収集をおこない、集中的対応をはかっていくこととしました。また、情報収集策としては、ネットによる相談の充実化をはかり対応していくこともあわせて確認しました。

3点目として、業種にまたがる課題に対応する地連活動は専門部・委員会を主体にして、加盟組合の会議体や取り組み及び業務との関連を調整の上、協力体制をはかり、地域に根ざした活動を基本に効率的な運営に努め、本部、各局との連携を更に強め取り組んでいくこととしました。

以上を基本としてその他の運動課題とあわせ取り組んでいくことを確認しました。

【信安豊廣】



岡 九州地連議長



信安 九州地連事務局長

九州地連

役職名	氏名	出身組合
議長	岡 之治	日本旅行
副議長	渦古 隆	ジェイティービー
	島村東一郎	近畿日本ツーリスト
	本村 昌巳	東急観光
	大田 治信	リーガロイヤルホテル小倉
	上野 英治	博多全日空ホテル
	高橋 幸三	杉乃井リゾート
事務局長	信安 豊廣	博多都ホテル
副事務局長	深川 武	博多都ホテル

## 中四国と関西両地連の良さを引き継いで

～西日本地連結成大会（中四国地連・関西地連） 2005.8.30 大阪国際会議場～

2005年8月30日（火）、西日本地連結成大会を大阪国際会議場において開催しました。地連組織の再編については、これまで組織財政の観点から議論が行われ、サービス連合の第4回定期大会において西日本地連の設立と中国支部の設置が答申されました。そのことを受けて、両地連間においては2004年10月に結成準備委員会を立ち上げ、結成大会までに4回の委員会を開催し、その準備にあたってきました。新組織結成を迎えるにあたって、中四国地連は29日（月）、関西地連は30日（火）の午前中に解散大会を開催して、それぞれの地域活動に一旦ピリオドを打ちました。結成大会当日は、代議員からの質問や発言もほとんど無く極めてスムーズな進行となりました。やや物静かな大会ではありましたが、新しい地連への今後の期待も含めて、運動方針の採択と新役員を選出を行い、無事終了しました。その後は、リーガ・ロイヤルホテルに場を移し、結成レセプションを開催し、出席者全員で新地連の結成を祝い合いました。

さて、いよいよ広域エリアの地連活動がスタートするわけですが、双方で培ってきた運動の流れを変えず、良いものは引き継ぎながら着実な成果を求め、運動を展開していきたいと考えます。また、今回設置された

中国支部と十分に連携を図りながら、地域活動の活性化に向けて取り組んでいきます。各位のさらなるご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

【角本和久】



寺田 西日本地連議長



角本 西日本地連事務局長

西日本地連役員（四役以上）

役職名	氏名	出身組合
議長	寺田憲一郎	全都ホテル
副議長	濱崎 眞自	中国支部長／リーガロイヤルホテル広島
	小仲 一彦	阪急ホテルマネジメント
	林 昌弘	日本旅行
	森岡 成人	ロイヤルホテル
	阿原 武史	藤田観光
	松岡日出人	ジェイティービー
	事務局長	角本 和久
副事務局長	藏本 健	大阪ヒルトン
	藤井 辰夫	阪急交通社

## 地域運動の更なる強化

～中部地連大会 2005.8.30 名古屋観光ホテル～

中部地連は、8月30日に名古屋観光ホテルにおいて第5回の定期大会を開催しました。

吉村（ジェイティービー労組）・角谷（鳥羽シーサイドホテル労組）両代議員が議長に選出され議事進行中、今大会ではこの1年を振り返り『2003～2004年度運動方針総括』を確認し、新たに『2005～2006年度運動方針』を原案通りに採択いたしました。来賓に

は連合東海ブロックを代表して連合愛知より堀下会長、そして選挙戦真っ最中の赤松衆議院議員。また本部からは、秋山副会長に参加を願い、それぞれにご挨拶を頂戴しました。地連の在り方が問われる厳しい環境下ですが、新たに選出された役員一同全力で組織維持・拡大に向け取り組んでまいります。

### ◆運動方針主要課題

加盟組合が求める産別・地連活動のあり方について問い、組織を維持した上で拡大を目指す。

- ① 地域に密着した活動の強化→地域展開
- ② 組合員参加型・現場レベルの目線での活動→職種別交流会の開催
- ③ 現役役員のレベルアップ・次世代役員の育成→単組ニーズに合ったセミナー・学習会
- ④ 風通しのいい体制→全単組との情報の共有化と地連役員の役割の明確化

【久米啓治】

### 中部地連役員（四役以上）



中山 中部地連議長



久米 中部地連事務局長

役職名	氏名	出身組合
議長	中山 譲	名古屋観光ホテル
副議長	森 啓記	近畿日本ツーリスト
	森 賢二郎	日本旅行
	高山 芳正	ジェイティービー
	飯野 正信	アンビ・ア・ツアーズ
	水谷 公治	名古屋ターミナルホテル
	山口 秀幸	金沢都ホテル
	竹内 寛	賢島宝生苑
事務局長	久米 啓治	専従/名鉄観光サービス

## 大きな組織になってもコツコツと

～東日本地連結成大会（関東地連大会・東北地連大会） 2005.9.2 ホテルラングウッド～

2005年9月2日、昨日に続き今日も熱い一日となりそんな予感です。午前中に準備を終え、その後昼食を兼ねた拡大執行委員会を開催し最終確認を行いました。

第1回東日本地連大会（結成大会）は午後3時定刻に始まりました。東北地連と関東地連が一つになり新たに1都15県にまたがる広域地連として錨をあげた瞬間でした。

この一年間TK委員会(両地連連絡会議)・設立準備委員会を合わせて4回開催し、新生東日本地連の進路について議論してまいりました。そして両委員会の議論を基に運動方針・予算・役員体制が確認され、今大会において承認されました。併せて、北東北（秋田、青

森、岩手）の組織拡大やサービス機能の補完を目的として秋田県に東北支部を設置しました。

この大会に先立ち関東地連第5回定期大会、また翌3日には東北地連の第5回定期大会が開催されたわけですが、両地連とも今回が最後の大会でありこの二年間の活動の総括および決算報告がなされました。特に仙台から事務所が撤退することもあり東北地連の代議員や執行部の中には特段に感慨深いものがありました。

サービス連合結成以来この4年間、東北地連と関東地連がそれぞれに培ってきたものを東日本地連がしっかりと引き継ぎ、組合員のために活動してまいります。

サービス連合本部ホームページ開設中  
<http://www.net-stu.com/>

最後にこの大会で退任された大久保、屋茸両事務局  
長のご苦勞に対し心より感謝申し上げます。

【大澤武信】



吉田 東日本地連議長



大澤 東日本地連事務局長

東日本地連役員（四役以上）

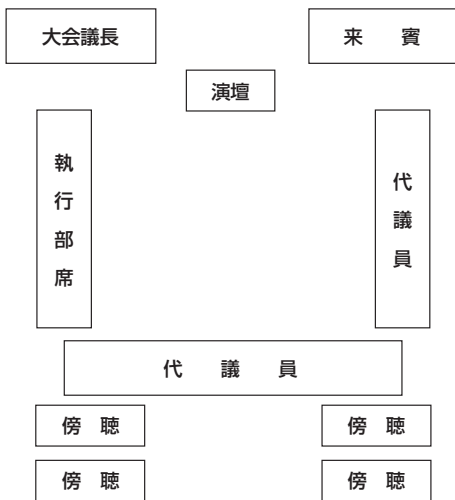
役職名	氏名	出身組合
議長	吉田 博司	帝国ホテル
副議長	松本幸二郎	芝パークホテル
	池田 伸次	グリーン・ホテル・マネジメント
	水迫 力	ジェイティービー
	池田 正	近畿日本ツーリスト
	原田 徹	東北支部長 ホテルサンルーラル大湯
事務局長	大澤 武信	専従/近畿日本ツーリスト
副事務局長	本吉 昇	東京ベイヒルトン
	玉山 圭吾	京王観光
	平松 敬史	日本旅行

意欲的な組織拡大を目指す！

～北海道地連大会 2005.9.7 センチュリーロイヤルホテル～

9月7日、16時30分よりセンチュリーロイヤルホテルで北海道地連第5回定期大会が開催されました。大会議長には札幌国際観光労組の佐々木代議員を選出しました。

今回は和やかな雰囲気求めて対面式でなく、ぐるり囲んで輪になった方式を取り入れました(表参照)。執行部17人、出席代議員22人(委任状12人)に加え、8人の傍聴者がありました。



表を持ち提案しました。「Ⅲ. 再度、平和について考えよう」では、平和産業たるサービス連合を再確認しました。「Ⅳ. 少子・高齢化・人口減を考え?」では、障がい者にやさしい旅の14年間は、実は高齢者にやさしい旅に育っていたことを確認しました。「Ⅴ. 具体的な運動」では、組織拡大に取り組み200人以上の仲間を増やしていく事を決議しました。第6号議案「感謝決議」では、解散したルネッサンスアソシエイツユニオンの佐竹元委員長より、支援に対して御礼として寄附をいただいたため、大会参加者全員が感謝の意を表しました。第7号議案で次の新執行部を選出し、大会は終了しました。

その後、懇親会が行われましたが、会場であるセンチュリーロイヤルホテルを組織する札幌国際観光労組が、結成30周年を迎えたため記念パーティーと併せて開催しました。懇親会には、選挙期間中にもかかわらず横路代議員(現衆議院副議長)や札幌国際観光の藤江社長も参加され、懇親会は大いに盛り上がり役員一同今期の運動を発展させていくことを誓い合いました。【佐藤公一】

大会は、連合北海道渡部会長、林山議長、サービス連合秋山副会長の順番に挨拶が行われました。次に今年結成された札幌パブリックサービス労組の3役を紹介し、挨拶の後議案審議に入りました。

運動方針第1号議案運動のまとめでは、2年前の文章をそのまま引用し、実際に実現したかどうかを評価しました。第2号議案、2年間の運動方針では「Ⅰ. はじめに」で「社会的存在価値のある運動」を行なうことを確認しました。特に「企業との関係だけが労働組合ではない。」というくだりでは、来賓の渡部会長も共感するとの声をいただきました。「Ⅱ. 労働者に来るしわ寄せに怒りを」では、格差の拡大、労働者への不利益変更について数字、



林山 北海道地連議長



佐藤 北海道地連事務局長

北海道地連役員（四役以上）

役職名	氏名	出身組合
議長	林山 智弘	ジェイティービー
副議長	横山 裕司	日本旅行北海道
	菊池 信好	札幌国際観光
事務局長	佐藤 公一	専従
副事務局長	清水 勝	名鉄観光サービス
	佐々木憲昭	札幌国際観光

## 東急観光労組和解成立

～東京都労働委員会にて和解協定書に調印～

東急観光労組は、昨年6月、2004年度夏期一時交渉以降、重ねて行われる会社の不当労働行為に対して、東京都労働委員会や東京地方裁判所の場で争いを継続してきましたが、11月1日、東京都労働委員会にて和解が成立し、裁判についても労使双方が取り下げることで合意に至りました。

東急観光における労使の対立は、この間混迷の度合いを深めて来ましたが、会社の行って来た行為が不当なものであることは明らかであり、サービス連合としても連合本部や連合東京と連携し「東急観光労組支援対策会議」を設置し各方面への働きかけなど懸命な支援を続けてきました。

東急観光事件については不当労働行為のみではなく投資ファンド会社の使用者性についても争われる等法的に整備されていない新たな労使関係の問題であった事から、マスコミや国会でも取り上げられるなど世間的にも非常に注目され、厚生労働省には関連する勉強会が設置されるなど、東急観光労組に対する支援の輪は過去に例の無い広がりを見せることとなりました。

特に、本年4月から5月にかけて、連合本部や連合東京を通じた加盟組合への働きかけにより会社に4千通余

りの抗議文が送付されるなど、連合としてもこれまでにない取り組みにまで発展させたことは、東急観光労組に対する力強い支援になったことは間違いありません。

このような取り組みが功を奏し、7月には労使で話し合い解決に向けた協議のテーブルに着くこととなりましたが、お互いの主張には大きな開きがあることから、解決までには多くの時間を要することとなりました。

9月に入り労使間の話し合いは、ようやく和解のための基本条件について合意に至り、さらに10月の末には和解条項についても合意することができ、11月1日の東京都労働委員会にて和解が成立することとなりました。

東急観光における労使問題は一応の解決を図ることができましたが、これで全て解決した訳ではありません。今後、真の意味で信頼できる労使関係を構築できるかが、従来にも増して重要であり、サービス連合では、引き続き、東急観光労組の取り組みを支援続けていきます。

この間、サービス連合に加盟する組合員の皆さんよりさまざまな励ましをいただきましたことをこの場を借りてお礼を申し上げ、東急観光事件についての報告とさせていただきます。

## 事務所を移転しました

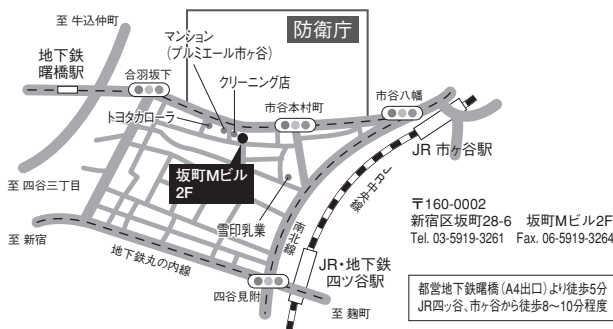
本部・東日本地連・労働情報センター・西日本地連・西日本地連中国支部

サービス連合では、今年に入ってから組織財政検討委員会の答申に基づいた事務所の移転を三ヶ所行いました。

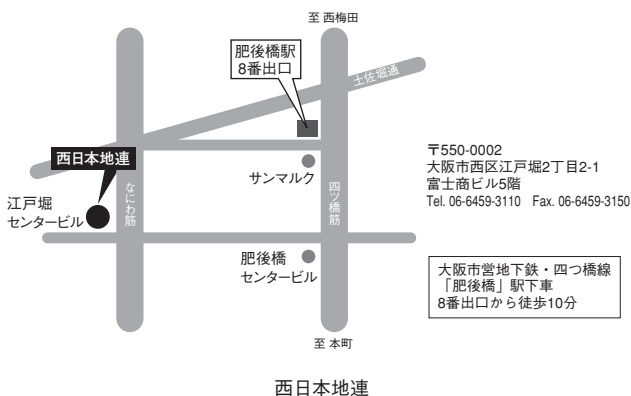
まず1月の末に関西地連（現西日本地連）事務所を心齋橋に近い南船場から江戸堀に移転しました。地下鉄四つ橋線の肥後橋駅から歩いて徒歩10分のところに立地しています。また5月には、広島市内八丁堀にある中四国地連（現西日本地連中国支部）事務所のフロア移転を行いました。

そして10月には、本部・東日本地連・労働情報センターを水道橋に近い千代田区三崎町から新宿区の坂町に引越し、旧組織を含めて30年余ぶりの移転を行いました。最寄り駅(四ツ谷・市ヶ谷・曙橋)から10分弱かかるなど、少し不便になりましたが、これまで2フロア(2階・4階)に分かれていた事務所スペースを一つにし、執行委員会などを自前で開催できる会議室も作り、事務所機能を充実させました。

右記に移転先と地図を掲載しています。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。



本部・東日本地連・労働情報センター



本部・東日本地連・労働情報センターが入居する坂町Mビル



西日本地連の入居する富士商ビル